



2026年2月改訂(記載要領変更に伴う改訂)

ご使用に際して、この説明文書を必ずお読みください。
また、必要な時読めるよう大切に保管してください。

第1類医薬品

鎮咳去痰薬

ゼーゼー、ひゅーひゅーをとまなうせき、たん

ミルコデ錠A

- ミルコデ錠Aは、たんのからむ咳や呼吸のたびに、「ゼーゼー、ヒューヒュー」という音をたてるような喘鳴^{センメイ}をとまなうせきに効果をあらわします。
- 気管支を広げて咳を鎮めるテオフィリンと*dl*-メチルエフェドリン塩酸塩、たんをうすめて出しやすくする3種類の生薬エキスとグアイフェネシンを配合した咳止め薬です。



使用上の注意



してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなります)

1. 次の人は服用しないでください
本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人。
2. 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も使用しないでください
他の鎮咳去痰薬、かぜ薬、鎮静薬
3. 授乳中の人は本剤を服用しないか、本剤を服用する場合は授乳を避けてください
4. 過量服用しないでください



相談すること

1. 次の人は服用前に医師又は薬剤師にご相談ください
(1) 医師の治療を受けている人。
(2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。
(3) 高齢者。
(4) 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。
(5) 次の症状のある人。
高熱
(6) 次の診断を受けた人。
心臓病、高血圧、糖尿病、甲状腺機能障害
2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性がありますので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師又は薬剤師にご相談ください



関係部位	症状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ
消化器	吐き気・嘔吐、食欲不振、胃腸出血
精神神経系	めまい、意識の低下、けいれん
循環器	動悸
呼吸器	呼吸が荒い
その他	貧血、からだがだるい

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けてください。

症状の名称	症状
ショック (アナフィラキシー)	服用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれる。
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸(皮膚や白目が黄色くなる)、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。
横紋筋融解症	手足・肩・腰等の筋肉が痛む、手足がしびれる、力が入らない、こわばる、全身のだるい、赤褐色尿等があらわれる。

3. 5～6回服用しても症状がよくなりえない場合は服用を中止し、この文書を持って医師又は薬剤師にご相談ください

〔効 能〕

せき、喘鳴（ぜーぜー、ひゅーひゅー）をともなうせき、たん

〔用法・用量〕

下記の1回服用量を食後なるべく30分以内に服用します。

年 齢	1回服用量	1日服用回数
成人（15才以上）	2錠	3回
15才未満	服用しないでください	

〈用法・用量に関連する注意〉

- (1)定められた用法・用量を厳守してください。
- (2)本剤を服用している間は、効果が弱まるおそれがありますので、セイヨウオトギリソウ（セント・ジョーンズ・ワート）含有食品を摂取しないでください。
- (3)錠剤の取り出し方
右図のように錠剤の入っているPTPシートの凸部を指先で強く押して裏面のアルミ箔を破り、取り出してお飲みください。（誤ってそのまま飲み込んだりすると食道粘膜に突き刺さる等思わぬ事故につながります。）



〔成分・分量と働き〕 6錠中

成 分	分 量	働 き
テオフィリン	300mg	気管支を広げ、咳を鎮めます。
dl-メチルエフェドリン塩酸塩	37.5mg	
グアイフェネシン	300mg	たんをうすめて出しやすくします。
キキョウエキス （原生薬量540mg）	120mg	
セネガエキス （原生薬量500mg）	30mg	
カンゾウエキス末 （原生薬量756mg）	108mg	

添加物として、結晶セルロース、ヒドロキシプロピルセルロース、クロスボビドン、ステアリン酸Mg、ヒプロメロース、マクロゴール、酸化チタンを含有します。

●保管及び取扱い上の注意

- (1)直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管してください。
- (2)小児の手の届かない所に保管してください。
- (3)他の容器に入れ替えないでください。
（誤用の原因になったり品質が変わるおそれがあります。）
- (4)使用期限をすぎた製品は、服用しないでください。



●せき、たんが早く楽になるためのアドバイス

1. **睡眠**をとり無理をしないことが治療の第一歩。外出するときは、あたたかくして体を冷やさないように注意しましょう。
2. **水分**を多くとるようにしましょう。たんのきれがよくなり、せきが楽になります。
3. **部屋**の空気をきれいにしましょう。また、部屋をあたため、なるべく湯気をたてて空気の乾燥を防ぎましょう。
4. **うがい**を心がけましょう。のどの不快感がやわらぎ、せきやたんが楽になります。外出のときは、マスクも効果があります。



副作用被害救済制度のお問い合わせ先

（独）医薬品医療機器総合機構

https://www.pmda.go.jp/kenkouhigai_camp/index.html

電話 0120-149-931（フリーダイヤル）

本製品についてのお問い合わせは、お買い求めのお店又は下記にお願い申し上げます。

佐藤製薬株式会社 お客様相談窓口

電話 03(5412)7393

受付時間：9:00～17:00（土、日、祝日を除く）

製造販売元
佐藤製薬株式会社
東京都港区元赤坂1丁目5番27号